



ミュージア川崎シンフォニーホール
&
東京交響楽団

名曲全集

第201回

MUZA Kawasaki Symphony Hall & Tokyo Symphony Orchestra
The Masterpiece Classics Series No. 201

2024年11月10日(日)
Sunday, November 10, 2024

ミュージア川崎シンフォニーホール

アンケートにご協力をお願いします



<https://gws-net.com/muza/>

音楽をお楽しみいただくために

 <p>皆様にコンサートを お楽しみいただくために、 ご協力をお願いいたします。</p>	 <p>開演中は、携帯電話・スマート フォン・タブレット端末など音 や光を発する電子機器の電源 をお切りください。</p>	 <p>時計のアラーム・時報などは設 定の解除をお願いいたします。</p>
 <p>ハウリングの発生を防ぐために、 補聴器などが正しく装着されて いることをご確認ください。</p>	 <p>演奏中の入退場はご遠慮くだ さい。全席指定の公演です。ご 自分の席でお聴きください。</p>	 <p>許可のない写真撮影・録音・録 画は固くお断りいたします(カー テンコール時を除く)。</p>
 <p>演奏中に音が出ないよう十分 ご注意ください(鈴のついたお 手荷物・飴の包みを開ける際の 音・プログラムをめくる音など)。</p>	 <p>演奏中の会話はお控えください。 ブラボーなどの声援をされるお 客様は、マスク着用を推奨いた します。</p>	 <p>曲が終わったとき、音が消えゆ く余韻を十分に味わってから 拍手・ブラボーなどの声援をお 送りください。</p>
 <p>客席内での飲食はご遠慮くだ さい。</p>	 <p>館内では咳エチケットを推奨し ております。</p>	 <p>適切な手指消毒を推奨してお ります。</p>

カーテンコールの撮影について

「名曲全集」シリーズでは、終演後のカーテンコールの撮影が可能です。
撮影は自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただきますようお願いいたします。
※前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません。
※フラッシュの使用、目線より高い位置での撮影はご遠慮ください。
※SNSなどに掲載する際は、ほかのお客様の映り込みにご注意ください。
※スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影、自撮り棒の使用はご遠慮ください。

● 本日の公演は「ニコニコ東京交響楽団」(ニコニコ生放送)による無料生配信を行います。
客席内・舞台上に収録カメラが入って : 視聴サイト「ニコニコ東京交響楽団」(会員登録不要) ▶
おります。なにとぞご了承ください。 : <https://live.nicovideo.jp/watch/lv345644221>



ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団
名曲全集 第201回

MUZA Kawasaki Symphony Hall & Tokyo Symphony Orchestra
The Masterpiece Classics Series No. 201

2024年11月10日(日) 14:00開演 Sunday, November 10, 2024, 14:00
ミューザ川崎シンフォニーホール

ラヴェル: スペイン狂詩曲 (16分)

Maurice Ravel: Rapsodie espagnole

- I 夜への前奏曲 Prélude à la nuit
- II マラゲーニャ Malagueña
- III ハバナネラ Habanera
- IV 祭り Feria

ジャレル: クラリネット協奏曲「Passages」 (20分)

Michael Jarrell: Passages, Concerto for Clarinet and Orchestra

(スイス・ロマンド管弦楽団/トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団/
東京交響楽団/サンパウロ州立交響楽団による共同委嘱作品・日本初演)
(Commissioned by the Orchestre de la Suisse Romande, the Orchestre National du Capitole de Toulouse,
the Tokyo Symphony Orchestra and the São Paulo State Symphony Orchestra / Japan Premiere)

休憩 (20分) intermission (20 min.)

デュリュフレ: レクイエム op. 9 (45分)

Maurice Duruflé: Requiem, op. 9

- | | | |
|------|--------------------------|---------------------|
| I | イントロイトゥス(入祭唱) | Introit |
| II | キリエ | Kyrie |
| III | ドミネ・イエス・クリステ(主イエス・キリストよ) | Domine Jesu Christe |
| IV | サンクトゥス(聖なるかな) | Sanctus |
| V | ピエ・イエス(慈悲深きイエスよ) | Pie Jesu |
| VI | アニュス・デイ(神の小羊) | Agnus Dei |
| VII | ルクス・エテルナ(永遠の光で) | Lux aeterna |
| VIII | リベラ・メ(私を解き放って下さい) | Libera me |
| IX | イン・パラディスム(楽園に) | In Paradisum |

※演奏時間は目安です

指揮: ジョナサン・ノット Conductor: Jonathan Nott	クラリネット: マグヌス・ホルマンデル Clarinet: Magnus Holmänder	メゾ・ソプラノ: 中島郁子 Mezzo-Soprano: Ikuo Nakajima
バリトン: 青山 貴 Baritone: Takashi Aoyama	合唱: 東響コーラス Chorus: Tokyo Symphony Chorus	合唱指揮: 福島章恭 Chorusmaster: Akiyasu Fukushima
管弦楽: 東京交響楽団 Orchestra: Tokyo Symphony Orchestra	コンサートマスター: グレブ・ニキティン Concertmaster: Gleb Nikitin	

【 謹 告 】

出演者変更のお知らせ

出演を予定しておりましたクラリネットのマルティン・フレストは、内耳の炎症のため、医師の診断により来日を断念せざるを得なくなりました。代わって、フレスト氏の強い推薦により、マグヌス・ホルマンデルが出演いたします。何卒事情ご賢察の上、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

主催: ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)、公益財団法人 東京交響楽団
後援: 在日スイス大使館、プリティッシュ・カウンシル
助成: 文化庁文化芸術振興費補助金舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動) | 独立行政法人日本芸術文化振興会





©T.Tairadate

指揮 | Conductor

ジョナサン・ノット Jonathan Nott

東京交響楽団第3代音楽監督。イギリス生まれ。フランクフルトとヴィースバーデンの歌劇場で指揮者としてのキャリアをスタートし、ルツェルン響首席指揮者兼ルツェルン劇場音楽監督、EIC音楽監督、バンベルク響首席指揮者を経て、2017年よりスイス・ロマン管音楽監督も務めている。抜群のプログラミングセンスと古典から現代曲まで幅広いレパートリーで、世界の主要オーケストラ・音楽祭に客演。

2010年バンベルク響とのCDが、世界で権威ある仏Midem音楽賞最優秀交響曲・管弦楽作品部門賞受賞。2009年バイエルン文化賞受賞。2016年バンベルク大聖堂にて大司教より功労勲章を授与。東響とともに2020年「ミュージック・ペンクラブ音楽賞(オペラ・オーケストラ部門)」を、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」毎日クラシックナビ「公演ベスト10」において、R.シュトラウス・コンサートオペラシリーズ『サロメ』、『エレクトラ』をベストコンサートに導く。

レコーディング活動でも多彩な才能を発揮し、ウィーン・フィルやベルリン・フィルとの録音のほか、東響とはオクタヴィアレコードより多くのCDをリリースしている。

クラリネット | Clarinet

マグヌス・ホルマンデル Magnus Holmänder

スウェーデン出身。ヨーロッパ・コンサートホール協会の「ライジング・スター」に選出され、コンセルトヘボウ、エルプフィルハーモニー、楽友協会などの一流ホールの演奏会に出演。音楽家でありマジシャンでもあるホルマンデルは、しばしば演奏にマジックを取り入れ、躍動感あふれるパフォーマンス、圧倒的な存在感、魔法のようなタッチが高く評価され、クラシック音楽界に独自の世界を築き上げた。彼の実験的好奇心と芸術的多才さは、多くの現代作曲家にインスピレーションを与え、緊密なコラボレーションを行っている。最近では、マルティン・フレスト指揮スウェーデン放送響とヤコブ・ミュールラッドのクラリネット協奏曲の世界初演を行った。

クラリネットのスーパースター、マルティン・フレストはその才能を認め「最も本格的なクラリネット奏者のひとり」と称賛している。
@magnusholmänder



©Nadja Sjöström



メゾ・ソプラノ | Mezzo-Soprano

中島郁子 Ikuko Nakajima

東京藝術大学大学院修了後、渡伊。第15回リッカルド・ザンドナーイ国際声楽コンクール・ザンドナーイ特別賞等、第14回ロッカ・デッレ・マチエ国際声楽コンクール(伊)第2位等多数受賞。日生劇場『セビリアの理髪師』ロジーナ、二期会『イル・トロヴァトーレ』アズチーナ、同『蝶々夫人』スズキ、びわ湖ホール『ファルスタッフ』クイックリー等を演じる。春祭では、R.ムーティ「イタリア・オペラ・アカデミー」『仮面舞踏会』ウルリカで活躍。また、「第九」、モーツァルト及びヴェルディ「レクイエム」等で高い評価を得ている。東京藝術大学准教授。二期会会員。

バリトン | Baritone

青山貴 Takashi Aoyama

東京藝術大学同大学院修了。二期会及び新国立劇場研修所修了後、ポーロニャ、ミラノにて研鑽を積む。新国立劇場『カルメン』『サロメ』、二期会『ナブッコ』タイトルロール、日生劇場『セビリアの理髪師』フィガロ、びわ湖ホール『ニュルンベルクのマイスタージンガー』ザックス、『ニーベルングの指環』ヴォータン、同『ファルスタッフ』タイトルロール、春祭イタリア・オペラ・アカデミー『仮面舞踏会』レナート等に出演。コンサート・ソリストとしても、フォーレ「レクイエム」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」等で活躍。二期会会員。



合唱 | Chorus

東響コーラス Tokyo Symphony Chorus

東京交響楽団専属のアマチュア混声合唱団として1987年に創立。「東京交響楽団と一体の演奏をし、より質の高い合唱付きオーケストラ曲のコンサートを提供する」ことを目的としている。演奏する楽曲の背景や歌詞に使用されている言語に精通した合唱指揮者、発声指導者、伴奏ピアニスト、言語指導者を招き、公演毎に出演者を決定するオーディションを行うことで常に演奏の質を高めている。2020年第32回ミュージック・ペンクラブ音楽賞クラシック部門「室内楽・合唱部門」賞を受賞。

合唱指揮 | Chorusmaster

福島章恭 Akiyasu Fukushima

桐朋学園大学卒業。大阪フィル合唱団指揮者。井上道義、尾高忠明、R.エリシユカ諸氏から信任を得る。2025年ウィーン・シュテファン大聖堂にてモーツァルト「レクイエム」指揮予定。音楽評論家として1994年アリオン賞(柴田南雄音楽賞)奨励賞受賞。

川崎市フランチャイズオーケストラ | Resident Orchestra for City of Kawasaki



東京交響楽団

Tokyo Symphony Orchestra

Jonathan Nott, Music Director

1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に改称し、現在に至る。
2004年7月より、川崎市のフランチャイズオーケストラとしてミュゼ川崎シンフォニーホールを拠点に定期演奏会や特別演奏会を開催し、市内での音楽鑑賞教室や巡回公演、川崎フロンターレへの応援曲の提供など多岐にわたる活動を行う。川崎市文化賞、文部大臣賞をはじめとする日本の主要な音楽賞のほとんどを受賞。新国立劇場開場時よりレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当し、教育面では「0歳からのオーケストラ」などが注目されている。海外公演も多く、ウィーン楽友協会を含む59都市80公演を開催。2024年より、アジア全体の音楽文化の向上を図る「東京交響楽団アジア・プロジェクト」を展開している。日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サブスクリプションサービスや、VRオーケストラ、電子チケットの導入などITへの取組みも音楽界をリードしており、2020年ニコニコ生放送でミュゼ川崎シンフォニーホールからライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴、2022年には史上最多45カメラで《第九》公演を配信した。2020年には「マッピングギフトコンサート」が川崎市の支援のもと開催され、自治体とオーケストラによる前例のない取組みが注目を集めた。2014年シーズンより第3代音楽監督に就任した音楽監督ジョナサン・ノットとともに、日本のオーケストラ界を牽引する存在として注目を集めている。「モーツァルト 演奏会形式オペラシリーズ」、ミュゼ川崎シンフォニーホール開館15周年記念公演《グレの歌》に続き、「R. シュトラウス コンサートオペラシリーズ」は、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」において、第1弾《サロメ》(2022年)が第2位、第2弾《エレクトラ》(2023年)が第1位に選出されるなど各メディアで絶賛され、第3弾《ばらの騎士》にも期待の声が寄せられている。 公式サイト: <https://tokyosymphony.jp>

音楽監督	ジョナサン・ノット	名誉コンサートマスター	大谷康子
桂冠指揮者	秋山和慶	第1コンサートマスター	小林孝成
	ユベール・スダーン		グレブ・ニキティン
正指揮者	原田慶太楼	コンサートマスター	田尻 順
名誉客演指揮者	大友直人		
永久名誉指揮者	アルヴィド・ヤンソンス◆		
	上田 仁◆		
	遠山信二◆		

<p>第1ヴァイオリン</p> <ul style="list-style-type: none"> ○木村正貴 ○堀内幸子 ○森岡ゆりあ 小川敦子 小山あずさ 立岡百合恵 土屋杏子 中村楓子 水谷有里 吉川万理 	<p>ヴィオラ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎青木篤子 ◎武生直子 ◎西村真紀 ◎多井千洋 ○山廣みほ 新井瑞穂 小西応興 鈴木まり奈 永井聖乃 金田滉司* 	<p>コントラバス</p> <ul style="list-style-type: none"> ☐助川 龍 ◎ユーティ・ローズブーム ○北村一平 ○久松ちず 安田修平 渡邊淳子 	<p>クラリネット</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎エマニュエル・ヌグー ◎吉野亜希菜 近藤千花子 	<p>トランペット</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎澤田真人 野沢岳史● 松山 萌 ◎ローリーティン* 	<p>ティンパニ&打楽器</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎清水 太 ◎山村雄大 武山芳史 綱川淳美 新澤義美 	<p>ライブラリアン</p> <ul style="list-style-type: none"> 林 知也 加藤幸子 	
<p>第2ヴァイオリン</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎清水泰明 ◎服部亜矢子 ◎加藤まな ◎福留史紘 河堀あずさ 鈴木浩司 辻田薫り 阿部真弓 坂井みどり 塩谷しずか 	<p>チェロ</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆伊藤文嗣 ☐笹沼 樹 ○川井真由美 内山剛博 蟹江慶行● 樋口泰世 福崎茉莉子 渡邊ゆかり* 	<p>フルート</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎相澤政宏 ◎竹山 愛 <p>フルート&ピッコロ</p> <ul style="list-style-type: none"> 濱崎麻里子 	<p>ファゴット</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎福士マリ子 ◎福井 蔵 坂井由佳 前関祐紀 	<p>ホルン</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎上間善之 加藤智浩 白井有琳* 	<p>トロンボーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎大馬直人 ◎鳥塚心輔 住川佳祐 <p>バストロンボーン</p> <ul style="list-style-type: none"> 藤井良太 	<p>チューバ</p> <ul style="list-style-type: none"> 近藤陽一 	<p>ステージ・マネージャー</p> <ul style="list-style-type: none"> 西岡理佐 山本 聡
<p>荣誉団員</p> <ul style="list-style-type: none"> 井伊 準◆ 							

☆ソロ首席奏者 ☐客演首席奏者 ◎首席奏者
○フォアシューパー ●インスペクター *研究員 ◆故人

ラヴェル：スペイン狂詩曲

「スペイン狂詩曲」(1907~08)は、モーリス・ラヴェル(1875~1937)が初めて手がけた大規模な管弦楽曲です。

バスク地方(フランスとスペインの国境に位置する)出身の母をもつラヴェルは、スペインに特別な愛着を抱いていました。1907年はラヴェルにとっての「スペイン年」で、歌曲『ハバネラの形式によるヴォカリーズ=エチュード』、オペラ『スペインの時』もこの年に作曲・着手されています。「スペイン狂詩曲」は最初2台ピアノのために作曲され、その後管弦楽化された作品で、約10年前にラヴェルが作曲した2台ピアノ曲「耳で聴く風景」中の「ハバネラ」の管弦楽版も挿入されています。初演は成功を収め、それまでもっぱらピアノ曲で評価を高めてきたラヴェルは、すぐれた管弦楽書法によってもこれ以降知られることとなりました。スペイン音楽の諸要素を、洗練されたオーケストレーションに織りこむラヴェルの手腕は見事です。

「夜への前奏曲」では4音のモチーフの反復が、暑さの残る夕暮れを喚起します。このモチーフは第2曲と第4曲にも現れます。3拍子のフラメンコ的一种である「マラゲーニャ」では、謎めいた冒頭を経て、熱狂と憂鬱が気まぐれに交替します。ビゼーのオペラ『カルメン』でも馴染み深い、付点のリズムをもつキューバ起源の踊り「ハバネラ」の、ゆったりとした気だるい動きからは、官能的な香りが立ち上ります。ドビュッシーは「ハバネラ」の2台ピアノ版の楽譜をラヴェルから借りたあと「グラナダの夕べ」を作曲しましたが、その後「ハバネラ」と「グラナダの夕べ」の類似性が指摘されるようになったため、ラヴェルはドビュッシーへの対抗心から、管弦楽版の楽譜に原曲の作曲年を明記しました。「祭り」は闘牛や縁日が行われる祭り(フェリア)を描いた、ホタ(アラゴン起源の3拍子の舞踊音楽)にもとづく賑やかな音楽。巡回するような音型をタンバリンとカスタネットが彩り、物憂げな中間部を経て、熱狂のうちに幕を閉じます。

(平野貴俊)

ジャレル：クラリネット協奏曲「Passages」

「パサージュ(Passages)」は、スイス・ロマンド管弦楽団、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団、東京交響楽団、サンパウロ州立交響楽団による委嘱作品で、マルティン・フレストのために書かれました。

2023年に作曲された本作品は、私の創作上のアプローチの基礎をなす旋律、色彩、時間とリズムの構造という諸要素を統合する方法について、近年私が行ってきた検討を深化させたものです。

これまでに私が作曲した協奏曲と比較してもなお、この作品では和声とオーケストレーションが存分に活用されています。それによって複雑でゆたかな空間が作りだされ、素材は始終絶え間ない差異化を被ります。

作曲中、本作のタイトルである「パサージュ」（訳注：タイトル Passages は「流れ」、「通過」などを意味するフランス語の複数形）という語が、私が音楽に与えたいと願っていた流動性と有機性を的確に表現しているように感じられました。

Passage d'une figure ou d'une note du soliste à l'orchestre

Passage d'une figure ou d'une note à travers l'orchestre

Passage d'un timbre à un autre

Passage d'un temps à un autre

Passage d'une idée musicale à une autre, d'un instant à un autre

Passage entre parties sombres et lumineuses

Passage vers le silence

ソリストからオーケストラへの、ひとつの音型あるいは音の流れ

オーケストラのあいだでの、ひとつの音型あるいは音の流れ

ひとつの音色から別の音色への流れ

ひとつの時間から別の時間への流れ

ひとつの楽想から別の楽想へ、ひとつの瞬間から次の瞬間への流れ

暗いセクションと明るいセクションのあいだの流れ

沈黙へ向かう流れ

世界初演を担うクラリネット奏者、マルティン・フレストは傑出した奏者であるだけでなく、「舞踊的」で「踊るような」演奏を好んで行う音楽家です。「パサージュ」のいくつかのセクションは、彼にインスピレーションを受けて書かれました。たとえば、冒頭でソリストが巨大な和音／空間を作り出すと、最初のクライマックスが築かれますが、このとき小さな踊りのような動きが始まり、ソリストは2つの音を何度も反復します。

その後に登場する、独奏クラリネット、ピアノ、ハーブ、打楽器が演奏するホモフォニックなパッセージにも、運動という発想が表れています。

ジュネーヴ、2023年9月30日

ミカエル・ジャレル

(日本語訳：平野貴俊)

デュリュフレ：レクイエム op. 9

オルガン奏者でもあったフランスの作曲家モーリス・デュリュフレ（1902～86）の「レクイエム」（1941～47）は、作品番号付きの作品を14しか残さなかったデュリュフレの代表作であり、モーツァルト、ヴェルディ、フォーレの作品に代表される、キリスト教の典礼的レクイエムの系譜の最後を飾る作品です。

デュリュフレは、「死者のためのミサ」（レクイエム）のグレゴリオ聖歌にもとづくオルガン組曲を作曲していました。第2次世界大戦中、ヴィシー政府（ドイツに降伏したフランスが設置した傀儡政府）から「交響詩」の委嘱を受けたデュリュフレは、この組曲を独唱、合唱、オーケストラのために作り変えて委嘱に応じることとし、約6年をかけて「レクイエム」を完成しました。死者の日（11月2日）に国営ラジオで放送され初演された本作は、戦死者への追悼の音楽であるといつてよいでしょう。ただし作曲者は、死を前にした人間の苦しみ全般を希望、諦め、恐怖の音楽化を通して表現した作品であると語っており、楽譜には、作曲中に亡くなった父への献辞もあります。同じく穏やかで親密な表情をもつフォーレの「レクイエム」（1900～01）としばしば比較されますが、本作はフォーレの作品と異なり、聖歌を主要な音楽素材として用いています。今回演奏されるフル・オーケストラ+オルガン版のほか、小編成オーケストラ+オルガン版、オルガン版の伴奏でも広く親しまれています。

「イントロイトゥス（入祭唱）」を経て、「キリエ」では「入祭唱」と同じ雰囲気のほか、合唱が声を美しく交錯させます。不穏な「ドミネ・イエス・クリステ」の後、「入祭唱」冒頭に似た弦楽器の音型で「サンクトゥス」が始まり、長大なクレッシェンドが築かれます。「ピエ・イエス」ではメゾ・ソプラノが陰影に満ちた旋律を歌います。「アニウス・デイ」で弦楽器が奏する哀切な旋律と、合唱の滔々とした音の流れは、主の寛大さを表すかのようです。木管楽器が朴訥とソロを奏する「ルクス・エテルナ」、劇的な「リベラ・メ」に続き、最終曲「イン・パラディスム」では、合唱の光明あふれる響きをホルンとオルガンが彩ります。

(平野貴俊)

プロフィール

ミカエル・ジャレル Michael Jarrell

1958年ジュネーヴ生まれ。ジュネーヴ音楽院でエリック・ゴードイェールに、フライブルク音楽大学でクラウス・フーバーに作曲を師事。これまで、リヨン国立管弦楽団のレジデント・コンポーザー（1991～93年）、ルツェルン音楽祭のレジデント・コンポーザー（1996年）を務めた。2001年にザルツブルク音楽祭の委嘱により「Abschied（別れ）」を作曲。同年、芸術文化勲章シュヴァリエを受賞。2010年にはウィーン市音楽賞を受賞。エマニュエル・パユ、ルノー・カブソン、タベア・ツインマーマン、イリア・グリンゴルツ、フランソワ・ルルー、ポール・メイエ、ベルトラン・シャマユをはじめとする数々の一流ソリストたちから委嘱を受けている。1993年よりウィーン大学作曲科教授、2004年よりジュネーヴ高等音楽院作曲科教授。

Maurice Duruflé:
Requiem, op. 9

I. Introit

Requiem æternam dona eis Domine,
et lux perpetua luceat eis.

Te decet hymnus Deus in Sion,
et tibi reddetur votum in Jerusalem,

exaudi orationem meam,
ad te omnis caro veniet.

Requiem æternam dona eis Domine,
et lux perpetua luceat eis.

II. Kyrie

Kyrie eleison.
Christe eleison.
Kyrie eleison.

III. Domine Jesu Christe

Domine Jesu Christe, Rex gloriae,
libera animas omnium
fidelium defunctorum
de pœnis inferni, et de profundo lacu,

libera eas
de ore leonis,
ne absorbeat eas tartarus,
ne cadant in obscurum.

Sed signifier sanctus Michael
repræsendet eas lucem sanctam,

Quam olim Abrahæ promisisti
et semini ejus.

デュリュフレ:
レクイエム(死者のためのミサ) op. 9

I. イントロイトゥス(入祭唱)

主よ、彼らに永遠の安息を授けて下さい。
そして絶えることのない光が
彼らを照らすようにして下さい。

神よ、シオンでは
あなたにふさわしい賛歌が歌われ、
エルサレムでは
あなたへの誓いが成就されます。

どうぞ私の祈りを聞いて下さい、
肉体あるものはみな、
あなたへと向かって行きます。

主よ、彼らに永遠の安息を授けて下さい。
そして絶えることのない光が
彼らを照らすようにして下さい。

II. キリエ

主よ、あわれみたまえ。
キリストよ、あわれみたまえ。
主よ、あわれみたまえ。

III. ドミネ・イエス・クリステ(主イエス・キリストよ)

主イエス・キリストよ、栄光ある王よ、
すべての、忠実な
死せる者の魂を
地獄の罰と、深い淵から解き放って下さい。

彼らを
ライオンの口から解き放ち、冥府が彼らを
飲み込むことがないようにして下さい。
彼らが闇の中へ陥らないようにして下さい。

旗手たる聖ミカエルが
彼らに光を示してくれますように。

かつてあなたがアブラハムと
その子孫に約束なさったように。

Hostias et preces tibi Domine
laudis offerimus,
tu suscipe pro animabus illis,
quarum hodie memoriam facimus;

fac eas, Domine,
de morte transire ad vitam.

Quam olim Abrahæ promisisti
et semini ejus.

IV. Sanctus

Sanctus, Sanctus, Sanctus
Dominus Deus Sabaoth.
Pleni sunt caeli et terra gloria tua.
Hosanna in excelsis.

Benedictus
qui venit in nomine Domini.
Hosanna in excelsis.

V. Pie Jesu

Pie Jesu Domine,
dona eis requiem,
requiem sempiternam.

VI. Agnus Dei

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi,
dona eis requiem.

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi,
dona eis requiem.

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi,
dona eis requiem,
requiem sempiternam.

VII. Lux æterna

Lux æterna luceat eis, Domine,
cum sanctis tuis in æternum,
quia pius es.

Requiem æternam dona eis Domine,
et lux perpetua luceat eis.

Quia pius es.

主よ、私たちはあなたに
賛美のいけにえと祈りを捧げます。
それをこの魂たちのために受け入れて下さい、
私たちは今日を彼らの記念にしているのです。

主よ、彼らを死から生へと
移してやって下さい、

かつてあなたがアブラハムと
その子孫に約束なさったように。

IV. サンクトゥス(聖なるかな)

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、
万軍の主なる神は。
天も地もあなたの栄光に満ちています。
いと高きところにホサナ(いま救いたまえ)。

ほむべきかな、
主の御名(みな)によって来る人は。
いと高きところにホサナ。

V. ピエ・イエス(慈悲深きイエスよ)

慈悲深きイエスよ、
彼らに安息を、
永遠の安息を授けて下さい。

VI. アニウス・デイ(神の小羊)

世の罪を取り除いて下さる神の小羊よ、
彼らに安息を授けて下さい。

世の罪を取り除いて下さる神の小羊よ、
彼らに安息を授けて下さい。

世の罪を取り除いて下さる神の小羊よ、
彼らに安息を、
永遠の安息を授けて下さい。

VII. ルクス・エテルナ(永遠の光で)

主よ、永遠の光で彼らを照らして下さい、
あなたの聖人たちとともに、永遠に。
あなたは慈悲深き方なのですから。

主よ、彼らに永遠の安息を授けて下さい。
そして絶えることのない光が
彼らを照らすようにして下さい。
あなたは慈悲深き方なのですから。

VIII. Libera me

Libera me, Domine,
de morte æterna, in die illa tremenda,
quando cœli movendi sunt et terra,
dum veneris judicare sæculum
per ignem.

Tremens factus sum ego, et timeo,
dum discussio venerit, atque ventura ira.

Quando cœli movendi sunt et terra.

Dies illa, dies iræ,
calamitatis et miseriæ,
dies magna et amara valde.

Dum veneris judicare sæculum
per ignem.

Requiem æternam dona eis Domine,
et lux perpetua luceat eis.

Libera me, Domine,
de morte æterna, in die illa tremenda,
quando cœli movendi sunt et terra,
dum veneris judicare sæculum
per ignem.

Libera me, Domine, de morte æterna.

IX. In Paradisum

In Paradisum deducant te Angeli,
in tuo adventu suscipiant te martyres,
et perducant te
in civitatem sanctam Jerusalem.

Chorus Angelorum te suscipiat,
et cum Lazaro quondam paupere
æternam habeas requiem.

VIII. リベラ・メ(私を解き放って下さい)

主よ、私を永遠の死から
解き放って下さい、その恐ろしい日に。
天と地が揺れ動き、あなたが訪れて
世々の人々を劫火(ごうか)で裁く、
その恐ろしい日に。

来るべき怒りが、裁決が下されるので
私は震えおののいています。

天と地が揺れ動く日に。

その日は怒りの日、
破滅とわざわいの日、大いなる日、
しかしとても思まわしい日です。

世々の人々を劫火(ごうか)で裁く、
その恐ろしい日に。

主よ、彼らに永遠の安息を授けて下さい。
そして絶えることのない光が
彼らを照らすようにして下さい。

主よ、私を永遠の死から
解き放って下さい、その恐ろしい日に。
天と地が揺れ動き、あなたが訪れて
世々の人々を劫火(ごうか)で裁く、
その恐ろしい日に。

主よ、私を永遠の死から解き放って下さい。

IX. イン・パラディスム(楽園に)

天使たちがあなたを
楽園に導いて行きますように。
殉教者たちがあなたの到着を迎え、
そして聖なる街エルサレムに
あなたを導きますように。

天使の一群があなたを受け入れ、
かつて貧しかったラザロとともに
あなたが永遠に安息を得られますように。

(歌詞対訳: 三ヶ尻 正)

ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団

名曲全集 2024-2025 [後期スケジュール] 各回 14:00 開演

第202回 12月22日(日) 年末恒例、秋山和慶の「第九」

指揮: 秋山和慶(東京交響楽団 桂冠指揮者)

●ベートーヴェン:「レオノーレ」序曲 第3番

ソプラノ: 盛田麻央 メゾ・ソプラノ: 富岡明子

●ベートーヴェン: 交響曲 第9番「合唱付き」

テノール: 城 宏憲 バス・バリトン: 加藤宏隆

合唱: 東響コーラス 合唱指揮: 辻 博之

第203回 2025年1月18日(土) 音で描く物語 出口大地の「ロメオとジュリエット」

指揮: 出口大地

●フンパーディンク: 歌劇『ヘンゼルとグレーテル』

第2幕から夕べの祈り〜パントマイム

ピアノ: 小林海都

●ショスタコーヴィチ: ピアノ協奏曲 第2番

●プロコフィエフ: 『ロメオとジュリエット』から

(出口大地セレクション)

第204回 2025年2月22日(土) 直球勝負! 原田慶太楼のシンフォニック名曲選

指揮: 原田慶太楼(東京交響楽団 正指揮者)

●ベートーヴェン: ヴァイオリン協奏曲

ヴァイオリン: 吉本梨乃

●チャイコフスキー: 交響曲 第5番

第205回 2025年3月20日(木・祝) 東響初登場! アバドが贈る「幻想交響曲」

指揮: ロベルト・アバド

●シューマン: 交響曲 第4番

●ベルリオーズ: 幻想交響曲

	S席	A席	B席	C席	
1回券 (第202回)	7,500円	6,500円	4,500円	3,500円	好評発売中! *友の会会員は10%割引 ※公演・席種によって予定枚数終了の場合がございます。 最新の残席状況はお問合せください。
1回券 (第203~205回)	6,500円	5,500円	4,500円	3,500円	

まもなく年間セット券発売開始!

25歳以下当日券 (学生に限らず25歳以下の方)	1,000円(要問合せ)
-----------------------------	--------------

名曲全集 2025-26シーズン 詳細ページはこちら →



お問合せ・お申込み

※ミューザ友の会会員の割引販売は 因 にて受付。

※最新の開催情報は公式サイトでご確認ください。https://www.kawasaki-sym-hall.jp

▶ミューザ川崎シンフォニーホール

因 電話予約 044-520-0200(10:00~18:00)

因 4階チケットカウンター 10:00~19:00

因 ミューザWebチケット https://muza.pia.jp/

(登録無料・24時間対応 ※火・水 2:30~5:30 を除く)

▶TOKYO SYMPHONY チケットセンター

044-520-1511(平日10:00~18:00/土日祝休み)

TOKYO SYMPHONY オンラインチケット

https://tokyosymphony.jp

※東響会員の割引販売を受け付けます。

ジュニアフォトグラファーズ

身近な自然をテーマに、子どもたちの環境意識を高め、豊かな感性を育む「写真教室」を開催しています。



綴 TSUZURI プロジェクト

貴重な日本の文化財の高精細複製品を制作し、広く公開することで文化財の継承に貢献しています。



光と色のじっけん室

カメラやプリンター技術の根幹にある光と色の原理について学べる実験プログラムを科学技術館で開催しています。



ともに、未来へ。

喜びや感動に満ちた次世代の豊かな暮らしのために。

キヤノンは、事業で培った技術や知識を生かし、

芸術、文化、教育などのさまざまな分野で社会貢献活動を行っています。

Canon

make it possible with canon

ミュージア川崎シンフォニーホールの公演事業は、
ホールスポンサーの皆様によって支えられています。

(敬称略・50音順)

法人

●特別賛助会員

川崎幸病院	キヤノン株式会社	三井不動産グループ
川崎信用金庫	サントリーホールディングス株式会社	
川崎フロンターレ	ジェクト株式会社	

●賛助会員

税理士法人あおぞら会計 株式会社イープラス ENEOS 株式会社 有限会社エムシーエス・デザインズ 神奈川臨海鉄道株式会社 川崎アゼリア株式会社 公益社団法人川崎市医師会 川崎市信用保証協会 公益社団法人川崎市病院協会 一般社団法人川崎市薬剤師会	川崎鶴見臨港バス株式会社 川崎日航ホテル かわさきファズ株式会社 川崎臨港倉庫埠頭株式会社 ケイジーケイ株式会社 京浜楽器株式会社 公益財団法人 JFE21 世紀財団 株式会社シグマコミュニケーションズ セレサ川崎農業協同組合 大本山川崎大師平間寺	高橋昌也税理士・FP 事務所 株式会社デイ・シー 東亜石油株式会社 株式会社東芝 ぴあ株式会社 ホテルメトロポリタン 川崎 ヤマハサウンドシステム株式会社 * 大宮町町内会 他2法人
--	---	--

●わくわくミュージア 法人サポーター

味の素株式会社 川崎事業所 川崎フロンターレ

個人

阿部孝夫	大塚具幸	喜多紘一	杉山弘子	中村紀美子	松嶋邦生
新井智彦	岡垣克則	木伏源太	鈴木甚郎	西 洋子	山内利夫
市橋信一郎	小笠原 将	久住映子	鈴木 徹	西山英昭	山下啓史
井上敏昭	岡田 元	小菅みつほ	関口 浩・三代子	長谷川喜代江	山田昌克
宇佐美清一	岡野 功	後藤 実	高井延幸	林 直人	D. Y
遠藤智和	小倉ヒロ・ミハエル	小林知子	高橋美子	廣瀬治昇	M. C
大越麻美子	小野洋彰	佐伯 昇	竹内啓介	藤嶋とみ子	N. A
大須賀徳也	金山直樹	佐藤晴茂	都築 豊	前田 泉	T. Y
					他匿名16名

(2024年10月18日現在)

ご支援の お願い

ミュージア川崎シンフォニーホールは川崎はもとより、世界における音楽文化の発展に尽力してまいります。芸術にご理解の深い法人、個人の皆様にご支援をお願いしております。多くの皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。詳しくはスポンサー担当(TEL 044-520-0100)までお問合せください。